

団体情報	
団体番号	12
団体名	陶芸部
所属人数（前年度）	17

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

活動報告	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。 陶芸を通じて、自分の時間を大切にしながら創作を楽しみ、互いの作品や表現を尊重し合い、ゆるやかなつながりの中で活動していくことが基本的な目的である。 しかし、1・2年生が主体となる新体制の今年度からは、地域の人々とも積極的に関わり合い、「茶の湯のまち松江の魅力発信と陶芸文化の復興」に貢献することを目指す。
	活動内容	Ⅰ. 前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 週に約一回のペースで、各々が自由な時間に陶芸制作に取り組んでいる。前年度の陶芸部の部員構成は1年生と4年生のみといういびつなものであり、さらに4年生の人数が1年生に比べて少なかったため、長期的な視点で見れば、このままでは陶芸部における陶芸技術の継承が危ぶまれることは明らかであった。 そのため、1年生は4年生に頼るばかりではなく、積極的に陶芸に関する動画を各自視聴して技術を自主的に学習したり、1年生同士で率直に変革が必要な事を話し合ったりするなど、少人数ながらも今後の陶芸部を担う立場として責任感をもって活動した。 また、凧風祭での陶器販売においては、部員不足や販売可能な陶器の不足といった問題を抱えつつも、部内に保管されている過去の作品を活用したり、ポップを工夫したりすることで、苦勞の末に魅力的な販売ブースへと仕上げる事ができた。 ②社会や地域貢献活動 前年度の陶芸部は、コロナ禍による部員の減少などの影響を引きずり、各々が専ら個人制作に打ち込み、地域との交流はおろか、部員同士の関わりさえ希薄な部活であった。 しかし、今年度は「茶の湯のまち松江の魅力発信と陶芸文化の復興」というコンセプトを掲げ、島根大学の不昧流茶道部と共に、地域に向けた様々なイベントを実施する予定である。前年度の後半からは、本格的なイベントの始動に備え、不昧流茶道部と今後の予定を打ち合わせたり、お互いの部活を見学したりしてきた。そして、それらの活動を通してお互いの活動目的や展望を共有し、社会に貢献したいという共通点があることを改めて確認することができた。 ③その他アピールできること 自分で制作した陶器を使用することで物に対する愛着が湧き、プラスチック製品や使い捨て製品の使用を避け、同じ物を長く使うようになるため、SDGsのNo.12「つくる責任つかう責任」、No.14「海の豊かさを守ろう」に貢献できると考える。



Ⅱ. 活動実績（大会、コンクールなどの実績を記入してください。）

なし

収支報告		金額（円）	備考（内容等）
	繰越金	¥120,912	
	入部(会)金		0円／人（年額）
収入	部(会)費	¥34,000	2000円／人（年額）
	サークル援助金（学推会より）		
	活動・イベント収入		
	寄付金		
	スポンサー収入		
	その他		
	収入合計	¥154,912	
	備品等購入費		
	施設等利用料		
支出	大会等参加費		
	広報活動費		
	交際費		
	交通費		
	その他		
	支出合計	¥0	
差引収支		¥154,912	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望事項※	大学に対する支援や要望	陶芸経験のある先生がもしいらっしゃれば、可能であれば、臨時講師になっていただきたい。
	学外の団体等への要望	島根県は新しいゆるキャラ「おまっちょ」が誕生に伴い、茶の湯文化の発信に注力しているので、我々もその広報活動に参画したいと考える。

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。